

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO



September 2019
No.799



「初めての山小屋泊まり登山」講座(柏崎市)
講義もトレーニングも事前準備は万全! 苗場山、全員登頂しました。

4~5 特集 第70回新潟県公民館大会事例発表I II III

CONTENTS

- | | | |
|---|------------------|--|
| 2 | トピックス | 「第41回全国公民館研究集会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会開催」 |
| 3 | 視点
ひろば
掲示板 | 「活用無限大! 少年自然の家」新潟県少年自然の家 所長 名古 善晃
「新たな地域交流の拠点、遂に開館へ」田上町交流会館 職員 牛田 伸幸
「各地区研修会の開催」 |
| 6 | 実践記録シリーズ | 「ふれあいコンサート」湯沢町公民館 |
| 7 | サークル交流
素顔拝見 | 「出会いとつながりを大切に」(村上市) / 「楽しい陶芸」(小千谷市)
潮田 憲幸さん(新潟市) / 山崎 由美さん(糸魚川市) |
| 8 | お元気ですか
恵贈資料紹介 | 「友人に恵まれた生活」十日町市・福原 光市さん |

TOPICS

第41回全国公民館研究会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会開催

令和元年8月22日(木)、23日(金)に栃木県宇都宮市文化会館会場を中心で開催されました。

研究会・分科会の様子を報告します。

研究集会テーマ

「公民館から発信する地域づくり」
～地域課題解決を通じた地域コミュニティの活性化を目指して～

第1日 全体会

(宇都宮市文化会館大ホール)

オープニングアトラクション

栃木県さくら市氏家公民館で実施した「夏休み公民館自由学校」の講座の一つであった「アイドル養成講座」を修了し、現在「ご当地アイドル」として活躍している2組のステージ発表がありました。



ビビットリングとラビンス

〇開会式

・文部科学省 総合教育政策局 から生涯学習・社会教育施設の最近の動向について説明がありました。

今後の社会教育施設に

求められる役割(特に公民館)

- ◆公民館の現状
- ・減少傾向にある館数
- ・主催事業の減少
- ・利用者の固定化が見受けられるところも
- ◆求められる/期待される役割
- ・学習の成果を地域課題解決のために実際の活動につなげていくための役割
- ・地域の防災拠点としての役割
- ・「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校との連携
- ・地域学校協働活動の拠点としての役割
- ・中山間地域における「小さな拠点」の中核となる施設としての役割
- ・「地域運営組織」の活動基盤となる役割
- ・外国人が地域に参画していくための学びの場
- ・これまでの公民館が培ってきた地域との関係を生かしながら、地域の実態に応じた学習と活動を結びつけ、地域づくりにつなげる新しい地域の拠点施設を目指していくことが望まれるというお話と具体的な事例について説明がありました。

開会式ステージ



連長 公連 全公 石川 あい



全公連表彰式

・当日欠席されましたが、新潟県では阿賀町の森山竜太さんが永年勤続者表彰を受賞しました。おめでとうございます。

〇基調講演

学校法人文教大学学園理事長 野島正也氏が「地域課題解決学習から地域創生へ」について基調講演を行った。



基調講演 野島正也氏

〇事例発表

広島県大竹市秋波公民館 主事 河内ひとみさんが、公民館のイメージアップを図る「学び



河内ひとみ氏

のカフェ」を創設以来、オリジナルTシャツ、テーマソング、地元の飲食店マップ「見知らんガイド」等を作成し、地域活性化に貢献してきた取組について発表されました。

〇次期大会紹介

・千葉県公民館連合会演 崎会長より 来年度の全国公民館研究大会・関東甲信越静研究大会千葉大会については、令和2年11月19日(木)～20日(金)に船橋市民文化ホール、船橋市中央公民館等で開催すると紹介がありました。



千葉県公民館連合会演崎会長あいさつ

第2日 分科会

(宇都宮共和国大学・宇都宮市中央生涯学習センター)

・第5分科会地域文化伝承の分科会で、新潟県上越市牧地区公民館の梨本りよ子さんが牧地区公民館活動を紹介しました。

◆発表内容

・牧地区公民館では、地域の自然や歴史・文化について学び、地域に伝わる技術や伝統を次世代に伝承し、学びを通じて地域に活力を見出すことをねらいとし



発表者 梨本りよ子さん 発表協力者 近藤めぐみさん

た事業を実施しています。伝承料理講座、しめ縄づくり講座、ワラ細工講座について活動の様子を紹介しました。

・指導者からは、地域の高齢者と若者をつなぎ、世代間交流を進めていること、昔からの伝統料理の中でも「手のとしとり」により風習を復活させていること、特産品開発に取り組み「よもぎの会」が継続していること、いきがいをもって取り組む姿が素晴らしいというお話がありました。

・分科会に参加して、事業の計画・実施での地域住民とのやり取りをお聞きして、牧地区の生涯学習推進に梨本さんがなくてはならない存在であると感じました。

梨本さん近藤さん、牧地区のために今後も活躍ください。(広瀬)



「新たな 地域交流の拠点、 遂に開館へ」

田上町交流会館
職員 牛田 伸幸



令和元年9月1日(日)、田上町の新たな地域交流の拠点として大きな期待を寄せられる中、「田上町交流会館」が開館しました。建設費約11億3千万円、3階建て鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)のこの建物は、平成初期に現在の田上町役場庁舎建設の際にその隣接地を用地として取得して以降、約20年近くの歳月を経てようやく建設が実現しました。これまで町の生涯学習の中心として機能していた田上

町公民館の代替施設としての役割を持つ場所として、田上町としては初となる本格的な音響機器を備えた多目的ホールのほか、4つの研修室と茶室付きの和室、ミニコンサートやバレエ・ダンスレッスン等の使用に適した中ホールといった設備が備わっています。

開館前日の8月31日(土)には、当町に所縁のある音楽家の方たちをお招きし、「開館記念コンサート」を実施したところ、およそ450名の方が来館され、開館を祝した事業として大いに賑わいました。

さらには今後、国道403号線バイパスの開通に合わせる形で来年、当会館の隣接する土地に「道の駅」が完成する予定です。既に稼働している当会館と連携し、さらなる賑わいの創出を目指し、運用していきます。田上町に立ち寄った際にはぜひ一度、足をお運びいただければ幸いです。

視点



新潟県少年自然の家
所長 名古 善晃

「活用無限大！少年自然の家」

新潟県少年自然の家は、昭和48年の開所以来、自然体験活動や集団宿泊活動を通して、豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健全な子どもの育成に取り組んでまいりました。そしてこの度、リニューアルオープンいたしました。

新施設は、施設面積は旧施設の2倍、宿泊可能面積は約1.5倍でおおよそ300人となりました。越後杉や安田瓦をふんだん使用した施設は、宿泊棟はもちろん、体育館や多目的ホール、研

修室も充実しております。天体望遠鏡で星空観察をするスペースもあります。屋外の炊事場もリニューアルし、屋根付きの調理場も増設しました。

従来の自然体験活動や集団宿泊活動による利用に加えて、勉強会や各種研修会、町内行事やお泊り保育など、利用方法も広がることと思います。

これまでも、公民館活動にご利用いただいていた方も、施設が充実した分、活用方法も広がることと思います。どうぞお気軽に、少年自然の家にお問い合わせ願います。

当施設が、青少年の健全育成はもちろんですが、広く県民の

生涯学習、社会教育の推進に寄与できることを願っています。



掲示板 HOT NEWS

- 第19回新潟県社会教育研究大会
- 佐渡大会
- 令和元年末下越地区社会教育研究会
- (1)期日 10月18日(金)
- (2)会場 佐渡島開発総合センター
- (3)日程
- 10:30 開会式

- 11:00 講演
- 演題 「重要文化財的景観選定と笹川集落の地域づくり」
- 講師 佐渡市世界遺産推進課
- 調査係 若林 篤男 様
- 12:50 分科会
- 14:50 閉会式

各地区研修会の開催

- 中越地区公民館職員研修会
- (1)日時 9月25日(水)10:00～
- (2)会場 燕市中央公民館
- 公民館のつどい
- (1)日時 9月28日(土)10:00～
- (2)会場 上越市頸城地区公民館 (ユートピアくびき希望館)

特集

第70回新潟県公民館大会事例発表ⅠⅡⅢ

事例発表Ⅰ 「知ってもらうために」広報の重要性と可能性

SNSを利用した広報活動例



田沢地区公民館 副主事 松澤 智美

1 田沢地区公民館(平成26年4月)
市町合併により新たな公民館体制の検討を重ね平成26年4月に田沢地区公民館は設置されました。当公民館は、社会教育・生涯学習活動のほか、コミュニティ・地域づくり活動を行い、地域の拠点としての役割を担っています。田沢小学校・田沢幼稚園と同一敷地内に建設されたことにより、大人から子どもまで世代間交流ができ、コミュニティ・スクール活動や市の地域づくりプランにも携わるなど、新たな付加価値を持つ公民館として地域に根差した特色ある活動を行っています。

2 事業内容

事業の対象は「青少年」「成人」「女性」「高齢者」「その他」に区切れ、幅広く事業展開しています。今話題になっていることや、他館で人気の事業を参考にしたり、地域のリクエストに応えながら、人々の交流や社会教育、生涯学習に役立つような事業に取り組んでいます。事業の実施にあたっては、対象者の世代や関心度など様々な想定をしながら、公民館だよりで募集記事を載せていきます。ところが募集定員に達しないことも少なくありません。

ポスターを作り、対象に応じて幼稚園や小・中学校に配布したり、地域のお店や集会所など様々な建物・施設へ頼んで掲示してもらうこともあります。

(1)参加者をいかに募るか
興味を持った方がいつでも都合のよい時に公民館の事業内容を確認でき、また、そのまま申込みまでできるなら、もっと気軽に、もっと幅広い世代にも参加してもらえませんか、そう考えました。そこで、田沢地区公民館独自のホームページの作成を提案！

(2)ホームページ(HP)の開設効果と課題
当地区公民館の管理運営委員や市担当課からは、HPを開設することで、多くの方の目に触れることになったため、良い事ばかりではななくマイナス面の対策も考えておかないといけないのでは、という助言がありました。
HPの内容は、基本的には公民館だよりの内容を掲載することにしました。
また、開設には「とりあえずHP」というサイトを利用しました。HP制作の専門知識がなくても、専用ソフトを使いこなせなくても開設可能な、初心者向けのサービスです。いろいろなテンプレートを用意されており、必要な箇所の記事を入力さえすれば立派なHPに仕上がります。

〈効果〉

- ・常時事業の内容が確認できる。
- ・公民館の普段の業務内容も常に載せられる。
- ・地区以外の人にも知ってもらえた。(HPを見た、と申込みがあった)
- ・カラーで伝えられる。

〈課題〉

- ・住民のみなさんからのアクセス待ち。
- ・海外からの迷惑メールが多少増えた。
- ・やりとりが一方的な公民館→参加者で、受付確認メールが届いているか不明。



ママと赤ちゃんのための教室

認知度が増してきたとはいえ、参加いただけるまでにはまだまだ、結局のところは直接の声掛けが続き、連絡方法は自分自身の携帯メールやLINEアプリを使いました。そのたびに、事業の細かい説明を一人一人にしているのが負担といえれば負担でした。そこで...

(3) SNSを利用した周知・発信(LINE@の活用)

SNS:ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネットや携帯回線を通じてオンライン上で不特定多数の人が交流をはかるサイトの総称で、「情報の発信・共有・拡散を目的とした機能を持ちます。例えばFacebookフェイスブック(ツイッター)インスタグラム「LINE」。

〈効果〉

- ・友だち数(登録数)60以上になった。100以上で、データ解析も可能。
- ・世代別、男女別、住まいなど)
- ・利用者が増えた。若い世代だけでなく、高齢者でもLINE使用者がいる。公民館ハンコンサークルの方々にも利用してもらえた。
- ・イベント情報の拡散も期待できる。
- ・事業の内容だけでなく、普段の質問に、気軽に利用いただいている。
- ・既読がつくので、内容を見たかどうかが明確。

〈課題〉

- ・マニュアル化して、どの職員でも対応できるようにしたい。
- ・SNS(LINE@)の危険性に対する学習が必要。
- ・HPとLINE@の両方を改善・更新するには作業負担が大きい。共に良い面があり、効果や費用面を比べながら一本化も検討していく。

3 結び

どんなにすばらしい講師先生方に来ていただいても、参加者が少ないと気まずいです。皆さんに是非とも知ってもらいたい事業でも、情報が行き届かなければ意味がありません。HPやLINE@で全てを解決できる訳ではありませんが、時代に合わせた効果的な広報活動にチャレンジしました。当地区公民館は歴史が浅いので、地域の皆さんにもっと身近に感じてもらう、つながりを深めるため、コミュニケーションを図るツールのひとつとして今後活用、改善していきたい

と想います。

田沢地区公民館の方針「つどう、まなぶ、つなぐ」を合言葉に、田沢地域がより元気になるよう、積み重ねていきたいと思っています。

事例発表Ⅱ 「つどう」「まなぶ」「むすぶ」公民館の役割と実践



加茂市公民館 館長 有本 幸雄

1 加茂市公民館の事業

(1)少年教育

○「自然ふれあい教室」
市内小学生を対象に、鳥の観察を通して、子どもが身近に生息する小鳥に関心を持ち、人間が自然と共生することの大切さを体験し、理解できるように援助する。
5月 探鳥会 8月 巣箱づくり 2月 巣箱つけ

○「子ども工作教室」
小学生を対象に、紙・ハサミ・のりなどを使い、自分の手で物を作る経験をしてもらう。
写真立て、万華鏡など。

○「子ども将棋くらぶ」「子ども囲碁くらぶ」
小・中学生を対象に、「将棋くらぶ」「囲碁くらぶ」を通じて、友達づくりと他の少年教育事業への参加を促進する。

(2)女性教育

○「加茂ふれあいセミナー」
材料費500円程度のものを使って、日々の生活をするうえで、心豊かになるような物づくり講座。

(3)男性教育

○「男の料理教室」
調理技術の習得や食について学ぶ
市内の料理屋の料理人を講師に迎え、月2回程度の調理実習

(4)成人教育

○「市民大学講座」
「心豊かに輝く未来」～成長し活力ある市民生活をめざして～をねらいとして開催しています。
大学教授・医師・歴史家・会社社長等を講師に迎え、年8回の講座と講座内容に関係する日帰り研修を1回開催

(5)高齢者教育

○「シニア教室」
「学ぶ、ふれあい、遊び」を通じて



高齢者間の絆と生きがいづくり」を目的として開催しています。

(6) 家庭教育

親子物作り講座
園児・小学生を対象に「あかり」をキーワードとして親子で協力して物作り給手紙あかり(あかり灯籠)、夢風鈴など

(7) 子育て交流会

子育て経験者と子育て世代(親)との交流会です。

(8) ふるさと愛護運動

加茂山一斉清掃
4月の第一日曜日、朝6時から市民参加の加茂山清掃です。

(9) ふるさと愛護ホスター「コンクール」

ふるさと愛護の心の啓発を図る目的で、市内小中学校を通じて作品を募集。

(10) ふるさと加茂カルタ大会

加茂の名所や伝統などを歌った加茂カルタ大会で市内小学生が対象です。

(11) 地域活動

市民将棋大会

市民将棋大会

(12) 学習援助事業

初心者3B体操教室「初心者太極拳教室」
初心者陶芸教室「初心者日本画教室」

(13) 公民館作品展

公民館や分館を利用している団体の作品展です。

(14) 成人式

毎年、5月3日(祝)に加茂文化会館で式典、となりの加茂市産業センターで立食パーティーを行っています。

(15) 加茂市青少年育成団体連絡協議会

夏休み2泊3日宿泊研修
国立妙高青少年自然の家で仲間づくりの活動等

スポーツを通じ親子のふれあい、育成会の親睦を図る。

加茂山野外ステージ広場で育成会、他団体との親睦交流を深める。

交流事業

秋房盆踊り大会「八幡ちびっこ相撲大会」等の援助

公民館の役割

毎年、公民館運営審議会の答申書に沿うように事業を行っているつもりではありますが、それが実際に市民の皆さんが望んでいる事業なのかどうかの答えが出ないのが実情です。

しかし、加茂市公民館の事業を通じて、「どう」として、各種講座の開催によって、交流・居場所・生きがいづくりの場を提供する。

「まなび」を通して、幼児期から高齢期までの各期に適した学習の場を提供する。

「むすぶ」として、子育て世代とベテラン主婦、子ども作品と青年会議所など、普段かかわりのない者同士の交流を助け、情報提供し人材を育成し、支援する。
それが、加茂市公民館の役割なのではないかと思えます。



事例発表Ⅲ 西新潟オープンカレッジと公民館



新潟市小針青山公民館 館長 河原 貢 司

1 西新潟オープンカレッジについて

(1) 背景

10年前、団塊の世代が60歳を迎え、定年後の居場所の必要性が問題(2007年問題)となり、その後、当館でもそれに対応した事業を計画することになりました。

平成27年、試験的に高齢者向けの講座を3か月連続で開催しました。各講座とも80人以上の参加者があり、十分学習意識の高いものであることが認識できました。アンケートで「有料化した場合の参加費は？」という問いにはほとんどの人が500円(ワンコイン)と回答し、参加費有料化について理解を示していました。

(2) 運営委員会設立

当館の活動協力員会議において「高齢者の居場所づくり」として西新潟オープンカレッジの設立を提案し、了承されました。平成28年4月に西新潟オープンカレッジ運営委員会を立ち上げることができました。

〈事業組織〉

○教養学部

ちよつと知的で楽しい時間を過ごせる講座。

○地域学部

地域の歴史や地域を学べる講座。

○子わか学部

子どもたちの体験や交流を中心とした講座。

〈運営費〉

本会主催の講座の運営は、各講座において受講生からの受講料をもって充てる。ただし、ある講座で収納された受講料を他の講座の必要経費に充てることできる。

(3) いよいよ開塾

平成28年8月31日、受講生募集と宣伝を兼ねた開塾記念公開講演会が、前新潟県知事・新潟国際情報大学学長(当時)の山田征夫氏をお迎えし、盛大に執り行われました。9月より各講座がスタートし、翌年3月までに教養学部7回、地域学部6回の講座を開催しました。有料にもかかわらず大勢の参加者があり好評のうちに無事終えることができました。また、地域学部が担当となって3月に開催した地域学ギャラリ「写真でみる小針の昔」では、西新潟オープンカレッジ受講生ではない地域住民も大勢観覧に来ていただき盛況のうち2週間が過ぎました。

これらの経験は、多くの運営スタッフにとって貴重な体験となり、心配していた予算面では繰越金も残すことができ、次年度以降の講座開催の自信にもなりました。

(4) 講座

西新潟オープンカレッジは、1年を上期と下期に分け、4〜5回の講座を設定しています。公民館も支援をしますが、企画から運営までオープンカレッジが主体となって進めています。



運営委員会 全体会

(5) 「塾生」・「聴講生」の3年間の実績(参加者の推移)

西新潟オープンカレッジの講座は、教養学部・地域学部ともに半期ごとの連続講座としており連続受講者を「塾生」と呼んでいます。その受講生を「聴講生」と呼んでいます。「塾生」には参加費の優待があり、塾生証も発行されます。また、全回出席した「塾生」には塾長賞も授与されています。

(6) 成果と課題

○成果

西新潟オープンカレッジの誕生は、削減されていく公民館予算では難しい講座の増設を可能にし、公民館に足を運ぶ高齢者が増えました。また、スタッフの活動そのものも「高齢者の居場所づくり」となり、その積極的な活動が受講生50人を超える講座を運営する力となつていきます。運営費についても学部の調整を図ることによって赤字が出ないようなしくみをつくり、予算に余裕がある場合には参加費無料の講演会を開催するなどして地域に学習の場を提供しています。

○課題

3年を経て受講生の減少が見られます。教養学部では特に「塾生」(連続受講の大幅な減少)があり、興味のある講座では塾生との定着も見られますが、全体の参加者は減少しています。参加者の減少は財源となる収入の減少につながり運営に支障をきたすことになるので、一定の参加者を確保するためにその原因を探り解決策を検討する必要があります。また、運営委員会ではスタッフの高齢化という問題が見えてきており、今後、新規スタッフの発掘・育成も行うていきたいと思います。

(7) 第71回平成30年度(優良)公民館表彰受賞

小針青山公民館は、平成30年11月、「特に事業内容・工夫をこらした、地域住民の学習活動に大きく貢献している」と認められる全国65公民館の1館として、「優良公民館表彰」を受けました。西新潟オープンカレッジの活動が大いに評価されたものと思われ、この成果を導いてくださいました関係者及び地域の皆さまに感謝いたします。

(8) これからの公民館活動

公民館を取り巻く情勢は、年々厳しさを増してきています。核家族化・少子超高齢化、高度情報化の進展により、近隣住民同士の関係が希薄化した結果、地域づくり、まちづくりが課題となつてきました。一方、当市においても厳しい財政状況を反映し、予算及び人員の削減が続いています。

このように厳しい状況に置かれていますが、「公民館には、いふれあい・まなび・あそび・ささげあいを大切に、地域づくり・まちづくりを担う使命があります。」

当館でも、この使命を果たすために様々な事業に取り組んでいます。が、今回の優良公民館表彰を励みとし、これからも職員一同、地域にとつて身近な学習の場・交流の場として頑張り、地域づくり・まちづくりを担ってまいります。

実践記録シリーズ

258

ふれあいコンサート

湯沢町公民館

湯沢町で音楽活動をしている人たちが企画する、今年で15回目となる手づくりコンサートです。コーラスやハーモニカ、津軽三味線、ピアノなどの楽器で、歌謡曲、ハワイアン、クラシックなど様々なジャンルの音楽を演奏します。客席とステージが一体となって歌ったり、笑ったり。とてもあたたかな雰囲気のコンサートです。



〜はじまり〜

「スキーと温泉の町」をキャッチフレーズとする湯沢町ですが、町民が生のお音を聞く・触れる機会が多くはない状況でした。そこで、湯沢町を拠点に音楽活動を行っている音楽サークルのみなさんに呼びかけ、町民の皆様気軽に音楽を聞く機会をお届けする「ふれあいコンサート」を企画したのははじまりです。

〜コンサートの運営〜

ふれあいコンサート実行委員は、地元イベントや施設訪問など各々がボランティア等で音楽活動をしており、日々公民館で練習に励んでいるサークルの皆さんです。

いつもイベントや発表会は出演のみの皆さん

んでしたが、企画から開催まですべて手づくりのコンサート。チラシづくりから始まり、商店街や施設へのチラシ配り。会場設営や音響・照明、司会進行、ステージセッティング等々。演者でありながら、裏方の仕事もこなさなければなりません。慣れないせいか当初はマイクトラブルやセッティングに時間がかかり過ぎる、などの反省点は数知れず。毎回それぞれの意見を出し合い、お客様の声も取り入れながら改善し、試行錯誤を繰り返しながら昨年度14回目まで開催することができました。長年足を運んでくださるお客様も多く、「年々上手になってすごいね、感動して涙がでたよ」「小学生だった○○君はまた大きくなったね」「今年の○○の企画は良かったね」と音楽を楽しむと同時に手づくりコンサートの成長も一緒に楽しんでくださるようになります。まさに音楽を通じてお客様と出演者が「ふれあい」コンサートへとなりました。

〜今後について〜

高齢化が進む湯沢町において、出演サークルメンバーも例外ではありません。ただ「年齢を重ねた今、このコンサートで年1回ステージに立てることが人生の糧になっている。」と仲間と共に練習



ふれあいコンサート 実行委員会

に励み、いきいきと日々を楽しんでいます。また音楽未経験の方々が公民館講座をきっかけにサークルを立ち上げ、このコンサートをはじめ、イベントや発表会等に出演し、積極的に音楽普及活動をしています。今後もコンサートを通じて町民の輪、生涯学習の輪が広がるお手伝いができると感じています。来年に向けての反省会



来年に向けての反省会



コンサートフィナーレ会場と一緒に歌う





出会いと つながりを大切に

手話サークルひまわり会

みなさんは、手話にどんなイメージをお持ちですか。当会は、今年で発足20年になります。当初は、テレビドラマなどの影響もあり、10代〜60代まで幅広く20名以上の会員とともに活発な活動をしていました。小学校に手話指導に出向いたり、イベントで手話ソングを披露したりしました。また、15周年記念旅行では東京デイズニランドで楽しい一日を過ごしました。昨年は皆で栗島グリーンアップ作戦に参加しました。会員数は少なくなりましたが、その分つながりは強くなっています。定例会では、手話を使いながら、日々の話題やいろいろな情報を交換し合っています。また、手話の学習では、聴覚障がいの方を中心にDVDを使ったり手話検定試験に挑戦し



たり、手話の向上を目指して頑張っています。中でも聴覚障がい者の置かれていた環境や状況を学んでいくなかで、気付けられることが多々あります。最近、テレビニュースなどでも手話を目にする機会が多くなりましたが、手話は難しいという先入観から敬遠されている方も多いのではないのでしょうか。出会いとつながりを大切に、一緒に楽しく手話を学んでみませんか。

村上市・手話サークル ひまわり会 記

楽しい陶芸

小千谷陶友会

小千谷陶友会は40年余りの歴史があり、諸先輩方より受け継がれた作陶技術と新しい技法等を勉強しつつ、「作る楽しみ」「使う楽しみ」を心掛け、作陶している自主サークル団体です。現在、15名の会員数で、年間行

現在、15名の会員数で、年間行

事として作陶だけでなく親睦を兼ねての研修旅行、県展、芸展並びに市展等の見学を行いながら、月2回の活動を実施し、各自で腕を磨きながら技術向上に努めております。

より多くの市民の方々に陶芸を親しんでもらうために市主催の初心者陶芸教室や夏休み親子陶芸体験教室などを実施し、少しでも興味をもってもらえるように楽しく活動しております。

また、年1回2日間の日程で作品発表の場としてグループ展を開催し、今年で25回を迎えることができました。市内外から200名を超える来場者があり、皆さんから大変喜んでもらっています。今後も楽しみながらサークル活動を続けたいと思います。



小千谷市・小千谷陶友会 代表 瀧澤 一之 記

糸魚川市能生地区公民館

副主事 山崎 由美さん



4月から公民館職員の一般公募で採用された山崎由美さんを紹介いたします。能生地区は14町内が対象であり、世帯数は一千余です。生まれも育ちも、そして嫁ぎ先も地区内である山崎さんは地域の方々と親交が深く、来館者から「由美ちゃん、おまん、ここで働くようになったんかねえ。こりゃええわ、よろしくね」と多くの方から声をかけてもらい頼りにされています。

またお子さんが能生白山神社春季大祭で稚児として舞楽を奉納した経験から地元の伝統や歴史をよく知っているのでもんなの指南役です。

これまで公民館主催の地区体育祭や敬老祝賀会の役員を積極的に引き受け、地域協議会議に参加し、保護者としても保育園から小・中・高と長年PTA役員を務めています。本人は「私にできることなら何でもやるよ〜」と気軽に伝えてくれますがその『能生郷土愛』に溢れる言動は、すでに能生地区公民館になくてはならないものとなっています。

毎朝4人分のお弁当を作り、お義母さんの面倒を見ながらフルタイムで働くパワフルな山崎さん！これからも持ち前の明るさと優しさで公民館を盛り上げてください。期待しています。

(能生地区公民館 橋立 優子 記)

新潟市新津地区公民館

主査 潮田 憲幸さん



新津地区公民館で勤務している「潮田憲幸さん」を紹介いたします。

新潟市新津地区公民館は JR 新津駅から阿賀野市方面に進んだ新津東町という地区に有り、施設内には公民館の他にコミュニティ放送局の「FMにいつ」が、敷地内には有名な「新津鉄道資料館」や「テニスコート」、「新津弓道場」などが入っている複合施設です。

公民館職員は再任用の館長と職員4名、非常勤職員5名臨時職員2名の合計12名で公民館事業を行っています。潮田さんは今年の4月異動で配属された職員で、主な担当事業は小学校の文化祭で行う体験教室の運営や、新津美術協会の事務局として、11月下旬に開催する秋葉区美術展覧会に向けて準備を進めています。潮田さんは何事にも真面目に取り組んでおり、これからも公民館の事業運営に新しい発想で取り組んでくれものと思っています。180cm近い大きな体を活かすような講座は少ないと思いますが、何事もチャレンジしてください。

(新津地区公民館館長 大塚 功 記)

素顔拝見

お元気ですか

「友人に恵まれた生活」

福原 光市
(十日町市)



早いもので、退職して15年が経ちました。

私は退職後、地区公民館の中国語講座に通っていました。そこで地域の先輩から、公民館活動に参加して欲しいと推薦依頼され、9年間、館長を務めさせていただきました。その後は地元元振興会長として地域の活性化や要望、課題解決に向け東奔西走しているところです。この4月から小学1年生の見守り隊の

ボランティアにも参加しています。充実した日々を過ごしながら喜寿を迎えられることはありがたいことです。

振り返ってみれば、私の周りには良い友達が沢山おりました。今でも高校時代の異業種の同年生12人が毎月10日に集まり、酒を飲みながらの会が有ります。私が30代で地元へ帰ってから、もう40年以上も参加しています。若い時は地域の政治・経済・文化活動等

についてまで活発な意見交換をしていましたが、最近はや近な話題が多く、自分たちの健康、これからの生活や孫の話で毎回、楽しく盛り上がっています。

この友人達は健康管理が良く皆さん揃って元気で、今なお行動範囲が広く、チャレンジ精神も旺盛です。私も刺激を受けながら、前向きに、心豊かに過ごしたいと思っています。これからも健康である限り、地域の皆様に支えられながら活動を続けたいと思います。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

恵贈資料紹介

十日町市吉田公民館発行の碑文第17号、信江第57号を紹介いたします。

碑文第17号は「大正・昭和・平成の3代にわたる厳しい幾星霜に生きた人達の証言」ということで、それぞれの人生で大切にされていることが綴られています。

信江第57号は碑文との合冊

編集の年であり、大正・昭和・平成生まれの方々からのご寄稿となりました。俳句・詩・

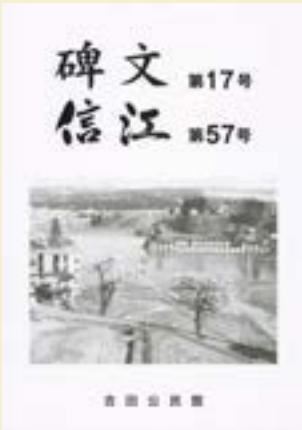
特別寄稿として第56回全国中学校クロスカントリースキー大会に関係された方々からのご寄稿がありました。

碑文第17号、信江第57号

十日町市吉田公民館発行

〈問い合わせ〉

十日町市立吉田公民館



農業・農村が日々の生活を支えています

農業・農村は、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的な機能を有しています。

本県農業・農村振興の取り組みに対する県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

新潟県市町村農業農村振興対策協議会
会長 (糸魚川市長) 米田 徹
新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

編集後記

夏は異常な酷暑でたいへんでした。県内でも40度を超えた市町村もありました。9月に入つて、だいぶ過ごしやすくなり仕事や研修にも打ち込めるようになってきました。

今月号に掲載しましたが、県大会・関プロ大会・全国大会と大きな研修会が終了しました。これからは、各地区で公民館職員の研修会が始まります。事務局では、70周年記念誌作成の仕事を進めようと思っております。

(広瀬)